

第78期 中間株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

Active with Newest Technology

アネスト岩田株式会社

証券コード: 6381



代表取締役 社長執行役員

瀬頼 真一

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここにアネスト岩田グループ第78期第2四半期連結累計期間(当中間期：2023年4月1日から2023年9月30日まで)の株主通信をお届けいたします。

現中期経営計画の2年目がスタートして半年が経過しました。当社グループが成長市場と位置付けている海外においては、東欧における紛争などを始めとした地政学リスクや人件費の高騰、中国景気の減速感など、依然として不透明な状況が続いています。日本においては、インバウンド需要の拡大継続や主にサービスに関する消費が増加傾向にあり、物価上昇や国内外の金利差に伴う為替の影響などはあるものの緩やかな改善傾向にあります。

当社グループは、中期経営計画の進捗状況や業績を基に5月の決算発表時には、中期経営計画最終年度末の売上高及び利益に関する計画値を上方修正しましたが、さらに11月の決算発表時には、事業の成長性や資本政策の見直しに伴う株主還元策の拡充をリリースしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,898百万円(前年同四半期連結累計期間対比14.5%増)、営業利益2,866百万円(同22.5%増)、経常利益3,951百万円(同27.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,623百万円(同32.9%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

2023年12月

2023年度連結業績予想と製品別売上高

11月9日に修正開示を行いました。2023年度の業績予想値は、為替レートを138.00円/ドル・149.00円/ユーロ・19.60円/人民元として計画したものです。

(単位：百万円)

		2023年度第2四半期実績		2023年度通期予想（前年度比較）			
		実績	構成比	目標額	構成比	増減額	増減率
売上高		25,898	100.0%	52,900	100.0%	4,384	9.0%
内訳	圧縮機	14,522	56.1%	—	—	—	—
	真空機器	1,445	5.6%	—	—	—	—
	エアエナジー事業	15,967	61.7%	32,500	61.4%	3,150	10.7%
	塗装機器	8,755	33.8%	—	—	—	—
	塗装設備	1,175	4.5%	—	—	—	—
	コーティング事業	9,930	38.3%	20,400	38.6%	1,234	6.4%
営業利益		2,866	11.1%	6,100	11.5%	261	4.5%
内	エアエナジー事業	1,413	—	3,380	—	110	3.4%
訳	コーティング事業	1,452	—	2,720	—	150	5.9%
経常利益		3,951	15.3%	7,700	14.6%	656	9.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		2,623	10.1%	4,600	8.7%	218	5.0%
¥/\$		134.85円		138.00円		6.57円	
為替レート ¥/€		145.79円 (実績)		149.00円 (想定)		10.96円 円安想定	
¥/CNY		19.45円		19.60円		0.12円	

※2023年度の業績予想につきましては、2023年11月9日に修正開示しました。詳細は当社ホームページをご覧ください。

株主還元政策(配当と自己株式の取得と消却)

株主の皆様に対する安定的な利益還元に努めることを重要な使命としております。

配当

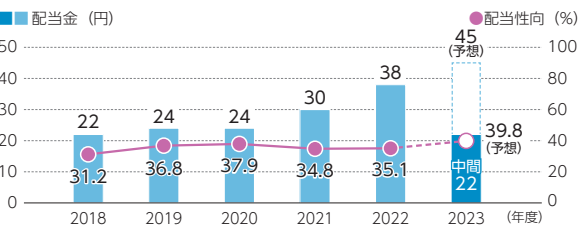
連結業績の「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲並びに連結配当性向40%を目安とします。なお中間期は5円増配しました。

	第2四半期末(中間)	期末	合計
2022年度	16.00円	22.00円	38.00円
2023年度	22.00円	23.00円(予想)	45.00円(予想)

自己株式の取得と消却

株式価値の向上を目的に継続的な検討を行っています。

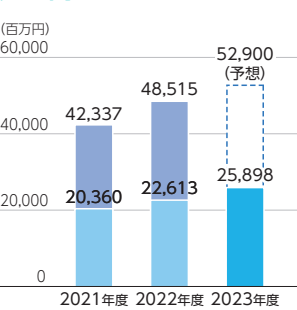
配当金と配当性向の推移



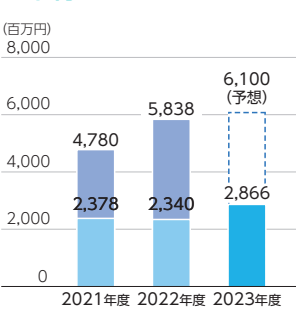
主要連結財務データ (単位：百万円)

	第76期 2021年度	第77期 2022年度	第78期中間 2023年度	第78期(予想) 2023年度
売上高	42,337	48,515	25,898	52,900
営業利益	4,780	5,838	2,866	6,100
経常利益	5,572	7,043	3,951	7,700
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	3,541	4,381	2,623	4,600
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	86.32	108.25	64.82	113.65
総資産	55,818	60,136	64,080	—
純資産	40,210	45,255	49,062	—
配当(累計) (円)	30.00	38.00	22.00	45.00

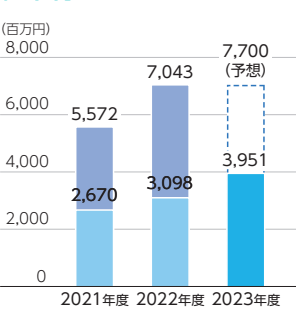
売上高



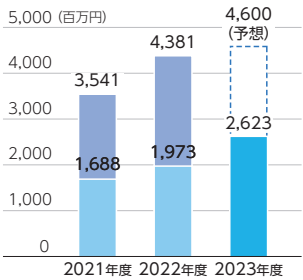
営業利益



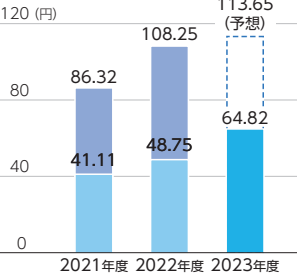
経常利益



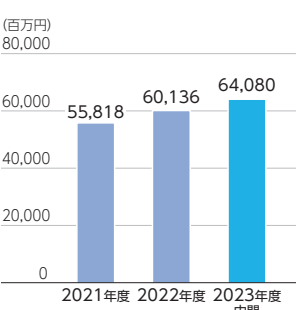
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



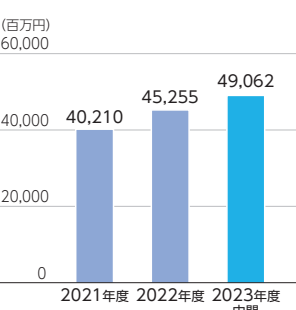
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産



ANEST IWATA Racing

当社は、事業領域拡大のためのオープンイノベーションを推進するべく、2023年シーズンより、「ANEST IWATA Racing(アネスト岩田レーシング)」としてSUPER GT300クラスに参戦しています。SUPER GTは市販車を改造してタイムを競う、国内最高峰のカーレースシリーズです。詳しくは公式サイト(https://www.anestiwata-racing.com/)をご覧ください。



▲詳細はこちら

お台場でPUMAとコラボレーション(2023年9月)

詳細はこちら



映画「グランツーリスモ」の公開(2023年9月15日)を記念して、映画に協賛しているプーマジャパン株式会社と協働で「アクアシティお台場」にブースを出展しました。

当日は、ドライビングシミュレータを使ったアトラクションや、当社の製品を使用した射的を実施し、多くのお客様でにぎわいました。

当社はドライビングシミュレータ「グランツーリスモ」シリーズを開発している株式会社ポリフォニー・デジタルとタッグを組んでSUPER GTに参戦しており、ANEST IWATA Racingのドライバーであるイゴール・オオムラ・フラガ選手の挑戦を共に応援しています。

イゴール選手は「グランツーリスモ」のeスポーツ大会で優勝経験のある実力者で、デジタルの世界から、リアルのレースに挑戦しています。



アクアシティお台場 イベント会場

福島・秋田工場でお披露目会を実施(2023年9月)

詳細はこちら



工場の敷地内を走るレースカー

従業員の交流を目的として、当社の福島・秋田工場でANEST IWATA Racingのお披露目会を実施しました。

イベントでは、工場の敷地をレースカーが走行し、両工場の従業員(福島工場：170名、秋田工場：約70名)が観覧しました。

また、お披露目会後には宮城県のスUGOサーキットでSUPER GTの第6戦が開催され、福島・秋田工場の従業員とその家族100名分の席を用意し、ANEST IWATA Racingを応援しました。

気候変動への対応(TCFDへの取り組み)

詳細はこちら



「環境に配慮した事業運営」を進めていくため、気候変動が当社に与える影響を踏まえた上で、事業活動を行っています。その一環として、当該情報の社会的な関心や重要度の高まりを鑑みて、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」に賛同し、署名しました。今後は、温室効果ガス排出量の算定範囲の拡大やシナリオ分析の実施を検討しており、さらなる開示情報の充実に努めていきます。



戦略

気候変動問題が当社の事業活動に対してどのような影響を与えるかを部門ごとに検討し、その内容をリスクと機会に分けて抽出し、中でも特に影響度が大きいと考えられるものを特定しました。
今後はこの内容を定期的に見直すとともに、TCFD提言に則ったシナリオ分析を進めることを検討しています。その結果は、2025年度を目安として、可能となった時点で開示する予定です。

事象		リスク／機会	
移行	技術	環境分野における技術革新の発生	リスク ● 環境配慮型製品の環境優位性を保つため、技術開発コストが増加 機会 ● より効率的な設備やシステムの登場により、当社の事業活動に係るCO ₂ 排出量が減少 ● 新技術の活用による既存の環境配慮型製品*の性能向上または新製品の開発によって業績が拡大
	市場	お客様の環境問題意識・リスクマネジメントの向上	リスク ● 競合他社の環境技術が向上した際に当社環境配慮型製品の環境優位性が低下した場合、売上が減少 機会 ● 早期開発が成功した場合、競争優位性を確保でき業績が拡大 ● 当社が現在取り扱う環境配慮型製品*の需要が拡大 ● 適切なBCP計画を策定し、自然災害発生時でも安定供給可能な体制を確立することで、取引先からの信頼獲得及び販売機会を創出
	政策／法規制	各国や地域における環境規制の新設・厳格化	リスク ● CO ₂ 排出や化石燃料の使用などに関連した規制の厳格化に伴う輸送や生産といった事業活動の制限発生や売上の減少 ● 再生エネルギーに関する調達コストや設備導入コストの増加 機会 ● 当社の環境規制対応製品の需要が拡大
	評判	企業の環境への取り組みに対する関心の高まり	リスク ● 環境にやさしい代替材の使用や調達方法の見直しなど低炭素型ビジネスモデルへの転換に伴うコストの増加 機会 ● 環境配慮型事業への注力及び盤石な経営基盤をアピールすることで、ESG投資の獲得やブランド価値が向上
	物理的	急性 自然災害・異常気象の激甚化	リスク ● 水害などのリスクから、被災による資産価値の低下や移転などによるコストの増加 ● 当社工場の生産活動低下やサプライチェーンの分断と部材の調達不足による売上の減少
	慢性	平均気温の上昇	リスク ● 当社あるいは取引先の従業員における健康被害やそれらに起因する生産・販売など事業活動の低下 ● 空調設備の増強や強化に関するコストの増加 ● 当社製品の不具合多発による売上の減少、あるいは対応可能な製品開発コストの増加

*環境配慮型製品：主にオイルフリー圧縮機・環境配慮型塗料に適した塗装機器など

ハノーバーメッセ (COMVAC) の展示会に出展 (2023年4月)



ハノーバーメッセ 展示会場

ドイツで開催された「ハノーバーメッセ」に、中国の連結子会社である上海斯可絡圧縮機有限公司 (以下SCR社) と共同出展しました。ハノーバーメッセは、世界50か国から4,000社以上が参加して最新の技術やソリューションを披露する展示会で、期間中は13万人もの来場者が訪れる世界最大級の産業展示会です。

当社は、欧州でも共通の課題となっている電気代の高騰や環境対応商品として、日本では一般的となっているブースタコンプレッサを活用した省エネ手法の提案や、SCR社の省エネ給油式スクリーコンプレッサの展示を行いました。今後は、販売店のネットワークや販売力を活用することにより、欧州市場における新たな用途開発の促進と圧縮機販売の拡大につなげていきます。

アメリカの販売代理店より事業の一部を譲受 (2023年1月)

アメリカの連結子会社 ANEST IWATA Americas, Inc が北米市場における販売代理店であるSynSysCo社から真空機器事業の一部を譲り受けました。

譲り受けた販路へ直接販売するとともに同社の技術力を活用することで北米市場での事業拡大を目指します。



ANEST IWATA Americas, Inc.

会社概要 (2023年9月30日時点)

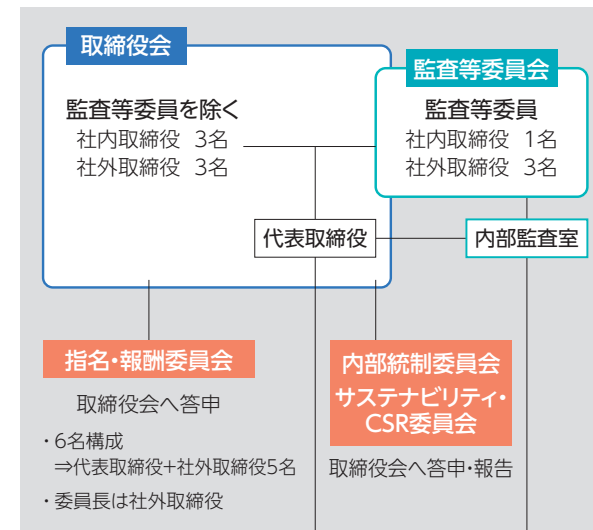
Company Information

会社の概要

商号	アネスト岩田株式会社 (ANEST IWATA Corporation)	従業員数	599名 (連結子会社含む1,837名)
創業	1926年5月1日	本社	神奈川県横浜市港北区新吉田町3176番地
設立	1948年6月2日	工場	秋田、福島
資本金	3,354,353,175円	営業拠点等	仙台、埼玉、横浜、名古屋、大阪、福岡

体制と役員氏名

【経営機関】



【業務執行機関】



【取締役・監査等委員である取締役】

代表取締役	深瀬 真一	取締役 監査等委員(常勤)	鈴木 正人
取締役	大澤 健一	社外取締役 監査等委員	大島 恭輔
取締役	武田 克己	社外取締役 監査等委員	松本 和道
取締役	三好 栄祐	社外取締役 監査等委員	大橋 玲子
社外取締役	浅井 侯序		
社外取締役	白井 裕子		
社外取締役	島本 誠		

【執行役員】

社長執行役員	深瀬 真一
--------	-------

専務執行役員：1名

コーティング事業部長	大澤 健一
------------	-------

常務執行役員：3名

営業本部長	武田 克己
経営管理本部長	三好 栄祐
エアエナジー事業部長	岩田 仁

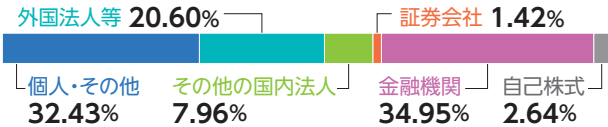
執行役員 国内：2名 海外：2名

コーティング事業 北米製造販売子会社 社長	Gary Glass
エアエナジー事業 事業戦略部長	大丸 正徳
中国製造販売子会社 社長	
コーティング事業 欧州製造販売子会社 社長	松本 卓也
エアエナジー事業 福島工場長	矢内 洋幸

株式の状況

発行可能株式総数 189,290,000株
発行済株式の総数 41,745,505株 (自己株式1,104,452株を除く)
(注) 自己株式には、株式給付信託が保有する
当社株式154,200株は含まれておりません。
株 主 数 4,413名

所有者別株主分布状況



大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,078	12.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,184	10.2
第一生命保険株式会社	2,272	5.5
アネスト岩田仕入先持株会	1,991	4.8
アネスト岩田得意先持株会	1,911	4.7

【お知らせ】株券を預託しなかった株主様へ

株券電子化の前に証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった株主様の株式については、特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にて管理しており、これを特別口座といえます。
そのままでは市場での売却ができない等の制約がありますので、お心当たりの株主様は、お早めに取引のある証券会社への振替をお願いします。
お手続きの詳細は、上記の三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176番地
経営企画部 TEL (045) 591-9344

ホームページアドレス

<https://www.anestiwata-corp.com/jp>



表紙デザインについて

2022年度～2024年度の中期経営計画で「500&Beyond」を掲げています。最終年度2025年3月期オーガニック分として、売上500億円以上を目指すことを表しており、表紙には成長の勢いを感じられるデザインを採用しました。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
基準日 3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同上連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号
電話：0120-232-711 (通話料無料)
郵送先：〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法 電子公告(下記 当社ホームページにて掲載)。
ただし、事故その他の事由で電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取・買増請求書その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きは買取・買増請求書を含め、上記の特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお受取りいただけます。

単元(100株)未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式は、証券市場で売買できません。しかし、株主様は当社に対して単元未満株式の買取(株主様の売却)または買増(株主様の購入)をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元株式に整理することができます。ご希望の方はお取引のある口座管理機関にお問い合わせください。

見通しに関するご注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見通しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、さまざまな要素により、これらと異なる結果となり得ることをご了承ください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。